

日本共産党区議会議員
Japanese Communist Party

安藤たい作

区政報告 ニュース 第72号

区民運動でついに特養ホーム増設が実現

品川区「特養ホーム整備を施設整備の柱の一つに」



2人続けて現職首相が国会審議直前に政権投げ出し。大事なのは政権の担い手が誰に代わるかでなく、政治の中身をどう変えるか、です。

区民が主役!
政治の役割は福祉!!

あらためておきたいこの2つの言葉。



漫画：安藤たい作

「老健施設を3カ月毎に転々とし8年間待っても入れない」など、品川での特養入所を待つ待機者数は450人以上。しかし区は「平成12年時点で特養ホームの整備は終わった。これからは多様なニーズにこたえてケアホームをつくる」との方針で「特養増設を」との願いに背を向け続けてきました。ケアホームとは有料老人ホームのことで、月費用が20〜30万円かかります。

八潮の特養老人ホーム建設計画(概要)

- 学校跡施設を利用して高齢者福祉施設を整備する
- 特別養護老人ホーム、ショートステイ、認知症高齢者グループホーム、介護予防拠点などの複合施設
- 建設スケジュール
 - 2008年度 利用計画と改修計画決定 (区民意見を公募します)
 - 2009年度 改修設計の決定、工事着工
 - 2010年度 工事完了後に使用開始

品川では8年間途絶えていた特別擁護老人ホームの増設が八潮で決まりました。施設の概要は以下の通りです。

「平成12年で整備は完了した」と度重なる「増設を」との請願提出にも関わらず、特養ホーム増設に背を向けてきた品川区。しかしこのたびはついに8年ぶりに増設を明言。区民運動の成果です。

この間、地域で街頭で署名運動が取り組まれ、議会に9回も請願が提出。他党は「品川区の方針を支持する」などことごとく否決にまわる中、共産党は切実な実態を突きつけ、独自の調査で品川区の低い整備水準も暴露。「増設を」と大いに論戦してきました。このたび、品川区が「方針を切り替えて特養ホーム整備を柱の一つにしていく」(7月16日・介護保険制度推進委員会)と表明せざるをえなくなったのは、区民運動と議会論戦による世論の高揚。「数が足りない」の声は医師会などからもあがり始めていた状況でした。今までの方針に固執しては支持を失う、という力学が働いたからこそ、区長も自らの「実績」として、特養増設を挙げたのではないでしょう(8月5日付・品川新聞・左)。

品川新聞

「昨10月の濱野区政」
濱野区長 起債発行を二年間ゼロに

「濱野区政2年間の実績」
特別養護老人ホームの増設

「昨10月の濱野区政」
濱野区長 起債発行を二年間ゼロに

「濱野区政2年間の実績」
特別養護老人ホームの増設

安藤たい作プロフィール '74年宮城県仙台市生まれ。国立宮城教育大卒。'98年漫画家を志し上京。'02年青年誌奨励賞受賞。'06年の区議補選で初当選。

安藤たい作ニュースは、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。ご意見・ご感想をお寄せください。

お知らせ

日本共産党区議会議員

Japanese Communist Party

安藤たい作
ニュース 裏面

～なくせワーキングプア！ひろげよう正規への流れ!!～

なんでもしゃべらナイト

いま多くの職場で、人間らしく働けるルールが壊されています。正規・非正規で働く若者の思いや雇用改善のたたかいの取り組みなど交流する企画です。

とき 9月10日(水) 午後7時より

ところ 荏原第五地域センター第一集会室

主催 日本共産党品川地区委員会ほか *資料代¥200

ご参加下さい!

9月の 無料なんでも法律相談会

- ①弁護士さんと一緒に相談会を行います。
生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください。
- ②当日直接お越しいただいても結構ですが、お待ち頂くこともあります。事前に電話を入れた上、ご参加いただけると確実です。
(事前予約は平日日中は区議控室へ: 5742-6818)
(土日は安藤事務所へ: 3491-3230)



9月16日(火)
夜6:30～8:30

第46回しんぶん赤旗 囲碁将棋大会—品川大会— **腕試し**

9月15日(月・祝日) 9:30開場【会場】南部労政会館【参加費】1500円(軽食付)

【主催】赤旗囲碁将棋大会実行委員会 【後援】日本棋院・関西棋院 日本将棋連盟【申込みは】03-3785-2843

ごみ・資源の分別変更の住民説明会が開催されています ご参加下さい

今年10月から、これまで一部モデル地域で先行実施されていたごみ・資源の分別方法の変更が、区内全域で本格実施されることとなります。主な変更点は以下の通りです。

- ①汚れていないプラスチック製容器包装(「プラ」マークが付いているものと蛍光灯を「資源」として回収しリサイクルする
- ②これまで「不燃ごみ」だった、汚れの落ちにくいプラスチック製容器包装・その他のプラスチック、ゴム製品及び皮革製品類を分別変更し、「燃やすごみ」にする
- ③今までの「可燃ごみ」は「燃やすごみ」に名称変更。②と合わせて、燃やして熱回収する「サーマルリサイクル」を実施する

プラスチック製容器包装のリサイクルに踏み出したのは前進ですが、これまで原則埋め立てていた不燃ごみや汚れたプラスチックを燃やして熱回収する「サーマルリサイクル」も合わせて実施されることは問題です。有害物質の発生への懸念や、燃やすことによる二酸化炭素排出の増加など、環境への悪影響が心配され、区民でも意見が分かれているからです。説明会に参加し、率直にご意見や質問を寄せてはいかがでしょうか。

開催日	開始時間	会場
9月8日(月)	午後7時～	荏原第一区民集会所 第一集会室
9月10日(水)	午後7時～	荏原第二区民集会所 第一集会室
9月12日(金)	午後7時～	荏原第三区民集会所 第一集会室
9月17日(水)	午後7時～	荏原第四区民集会所 第一集会室
9月19日(金)	午後7時～	荏原第五区民集会所 第一集会室

*詳しい問い合わせは 品川区清掃事務所(Tel13490-7051)
品川区資源循環推進課(Tel15742-6843)へ